

第5回 新たな路面公共交通システムSRT

トータルデザイン懇談会 次第

日時 令和6年6月10日(月)

14:00～16:00

場所 名古屋市 西12E会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) 令和5年度の振り返りとSRTの名称について【資料1】

(2) トータルデザインについて【資料2】

4 閉 会

※次回は、令和6年8月28日開催予定

<配布資料>

- ・ 委員名簿、配席図、令和6年度主な施策等一覧(SRT抜粋)【参考資料】
- ・ 資料1 令和5年度の振り返りと名称について
- ・ 資料2 トータルデザインについて

第5回 新たな路面公共交通システムSRT トータルデザイン懇談会

委員名簿

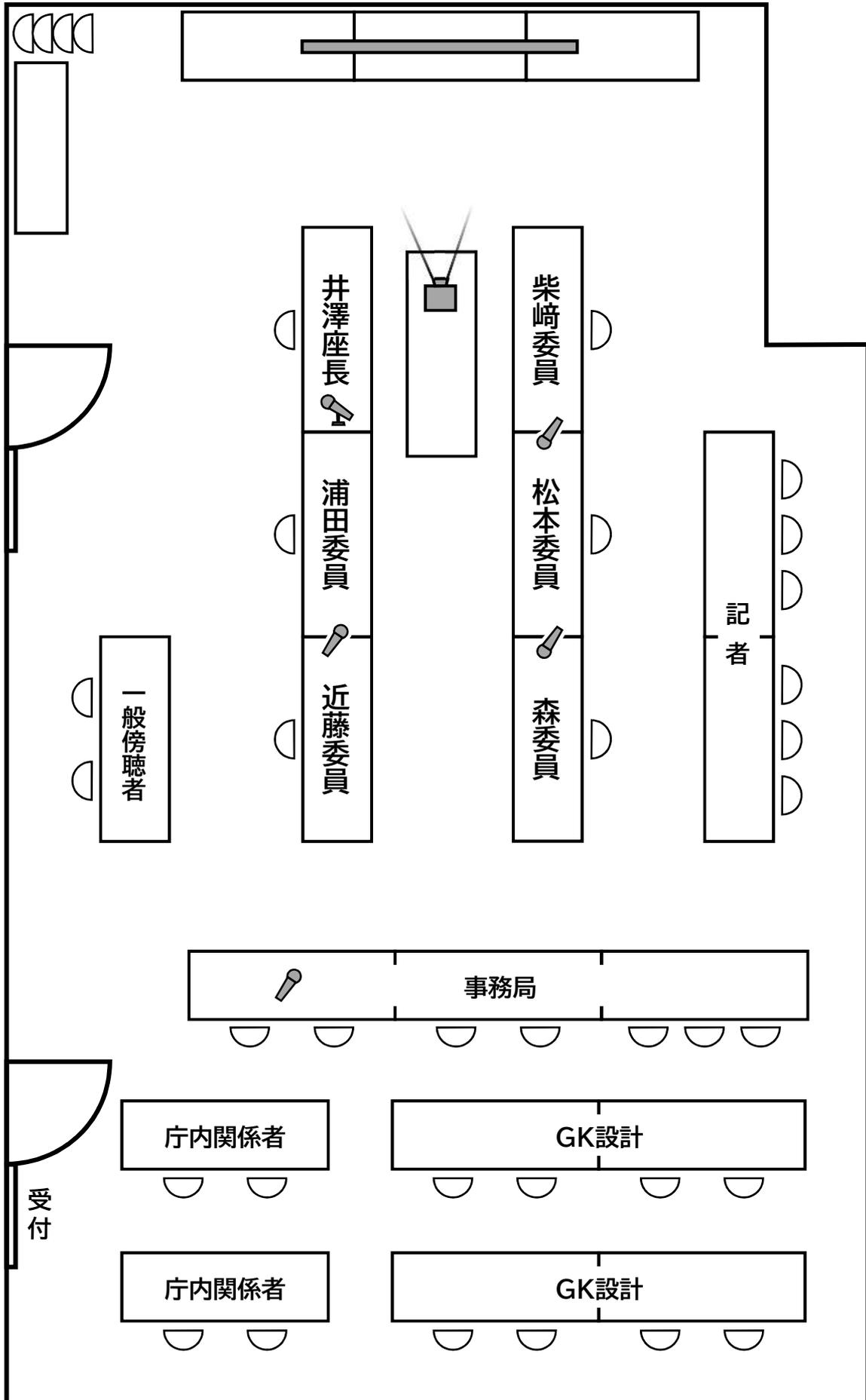
氏名	所属・役職等	分野
井澤 知 且	名古屋学院大学 名誉教授【座長】	まちづくり
浦田 真 由	名古屋大学 大学院情報学研究科 准教授	デジタル
近藤 マリコ	プランナー・コピーライター	文化
柴崎 幸 次	愛知県立芸術大学 美術学部 教授	デザイン
松本 幸 正	名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科 教授	交通
森 旬 子	名古屋市立大学 大学院芸術工学研究科 教授	デザイン

(敬称略、50音順)

第5回 新たな路面公共交通システムSRT トータルデザイン懇談会 配席図



西12E会議室(西庁舎12階) 6/10(月) 14時~



令和6年度主な施策等一覧

住宅都市局

事 項	(拡充) 新たな路面公共交通システムの導入準備	草案頁	62頁
予 定 額	609,840千円		
事業の概要	<p>1 趣旨</p> <p>新たな路面公共交通システムSRTは、名古屋都心部の賑いや回遊性の向上、また公共交通・歩行者中心のウォークアブルな空間形成を目指し、連節バスの体験乗車やテラス型の乗降・待合空間の社会実験を行いながら、令和7年度の「東西ルート（名古屋駅－栄間）」の運行開始に向けて準備を進めてきた。</p> <p>令和6年度は、引き続き「東西ルート」の運行準備として、乗降・待合空間の整備や車両の製造などを行う。また、「周回ルート」の一部として、アジア・アジアパラ競技大会時に導入を目指す名古屋駅－名古屋城の運行に係る連節バスの発注や運行に向けた地元・関係機関との協議等を進める。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 乗降・待合空間の整備 東西ルートである広小路通を中心に、テラス型乗降・待合空間等の整備を行う。</p> <p>(2) トータルデザイン実装等 トータルデザインを施した車両の製造やSRTの運行に必要な機器等の設置を行う。</p> <p>(3) 連節バス2台の製造 債務負担行為 期間：令和7年度 限度額：260百万円</p>		
担 当 課	都市計画部交通事業推進室 電話972-2744（内線2744）		

